

第二次基礎・基盤研究部門の発足(1966～1984)

When the secondary basic R & D division was founded (1966 to 1984)

< 基礎・基盤研究部門の位置づけ >

1966年、独力で新技術の実用化を可能とするための方策の一環として組織を研究部制へ移行した。それに伴い、基礎・基盤部門は電子部品、部品材料、基礎の3研究部及び茨城支所に再編成され、第2次体制がスタートした。1971年には茨城支所の基盤の上に茨城電気通信研究所を設立し、1983年には半導体デバイス研究の強化を目的として厚木電気通信研究所を設立した。この間、光ファイバ通信の諸研究、PARCOR並びにLSP音声分析合成法の研究、LSIの研究等において数々の成果を挙げ世界に名声を博した。また、方式系の研究部門において、一部で、将来の通信方式に関する基礎的な研究を行った。

< 研究方針 >

- 明確な目標設定、責任体制のもとでの研究実用化の推進
- 将来の通信方式と、それを実現するための新原理に関する基礎研究
- 新しい部品・材料の基礎研究

< 研究組織 >

